下落率とバリュエーションからSOXの今後を考える

チーフ・ストラテジスト　石黒英之



ポイント① SOX大幅続伸で調整一巡期待も

米国の半導体株に自律反発の機運が強まっています。半導体株で構成されるSOXは5日に6月の最高値から38.4%下落しましたが、その後は持ち直し、9日の米国市場でも大幅に上昇しました。イラン情勢の緊張緩和期待による原油安が支えとなる中、半導体株にも買い戻しが広がっています。

15年以降のSOXを振り返ると、半導体株は何度も大幅な調整を経験してきました。20年のコロナ・ショックや22年の急速な金融引き締め局面等では、高値から40%前後下落した後に底入れする動きがみられました（右上図）。今回も一時38%を超える下落となっており、過去の大幅調整局面に近い水準です。40%が下落のピークとは言い切れませんが、値幅調整は相当程度進んできたと考えています。

SOX（フィラデルフィア半導体株指数）と高値からの下落率



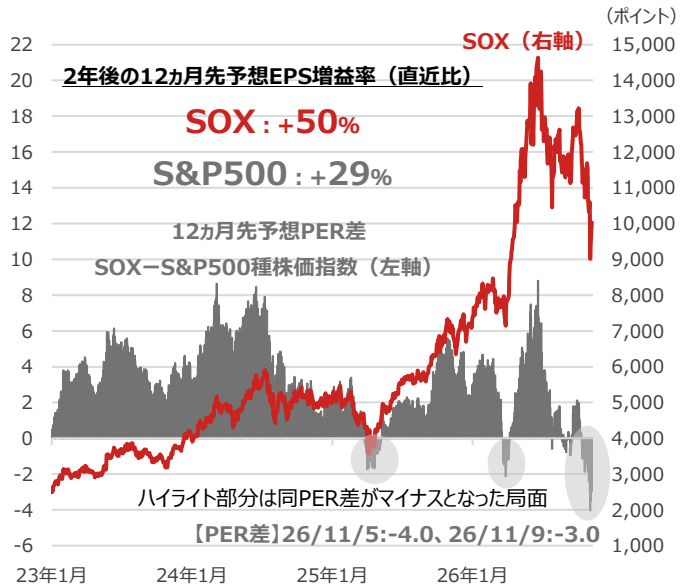
期間：2015年1月2日～2026年11月9日、日次
・高値からの下落率は2015年1月2日を基点とした
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ポイント② 利益成長と値ごろ感がSOXの支えに

もう一つの注目点はバリュエーションです。SOXとS&P500の12ヵ月先予想PERの差は、5日に23年以降で最大のマイナス幅に拡大しました。株価反発とともに差は縮小していますが、SOXの同PERは依然としてS&P500を下回っています（右下図）。AI（人工知能）関連の設備投資の先行きへの警戒感が、株価に織り込まれていると考えられます。

一方、2年後の12ヵ月先予想EPS（1株当たり利益）増益率はSOXが50%、S&P500が29%と、半導体株の高い利益成長が見込まれています。AI規制強化や設備投資の鈍化には警戒を要しますが、業績見通しが維持されれば、現在の評価差が改善する余地もありそうです。値幅調整とバリュエーション調整による値ごろ感を背景に、半導体関連株への見直しの動きが今後も続く可能性がありそうです。

SOXとS&P500種株価指数の12ヵ月先予想PER（株価収益率）差とSOX



期間：2023年1月3日～2026年11月9日、日次
・2年後の12ヵ月先予想EPS増益率は2026年11月9日時点のBloomberg予想
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一的見解ではないものもあります。

NOMURA 野村アセットマネジメント

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧下さい。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2026年11月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家がその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 ＊一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 ＊ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

当資料で使用した指数について
●「S&P500種株価指数」はスタンダード＆プアーズ ファイナンシャル サービシーズ エル エル シーの所有する登録商標です。

NOMURA
野村アセットマネジメント

商　　号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
　　一般社団法人第二種金融商品取引業協会